

令和6年度ふるさと創造資金活用事業成果検証について

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	現状値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由/その他備考
1	蕨市	「健康で幸せに暮らせるまち蕨～スマートウエルネスシティ～」推進事業	スマートウエルネスシティの取組を具体的に推進するため、アクションプランを策定し、併せてワーキングイベントの開催	ソフト	週3日以上、運動・スポーツをする市民の割合	26.8%	32%			検証中
2	志木市	BEYOND志木！～さらなる健康増進を目指して～	「健康の社会的決定要因(SDH)」に基づいた、継続参加できる環境整備および年代別アプローチ、食生活を踏まえた健康づくり	ハード	いるは健康事業登録者におけるかざすくん利用回数(年度内合計)	759,162回	835,078回			R8年度検証予定
3	三芳町	世界農業遺産認定を契機とした交流人口の創出事業	「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が世界農業遺産認定を契機とし、町の観光コンテンツのブラッシュアップと新たな視点での観光推進事業による交流人口の創出	ハード	観光客数	10,622人	95,000人			R8年度検証予定
4	春日部市	まちの案内人「クレヨンしんちゃん」による春日部周遊促進事業	交流人口の獲得及び市内周遊を目的に、市役所新庁舎敷地内に春日部市まちの案内人である「クレヨンしんちゃん」野原一家のミニモメント及び看板を設置	ソフト	クレヨンしんちゃんスタンプ巡り等を目的とした市役所への訪問者数	1,598人	2,000人	3,166人	A	
5	春日部市	春日部産米を活用した食の新たな地域ブランド創出事業	農地の有効活用を目的に、市内の稲作環境に適した米粉用品種を作付けする米粉活用の実証実験(2か年事業の2年目)	ソフト	春日部産米の米粉を活用する協力店数	2店	10店	12店	A	
6	越谷市	越谷市シティプロモーション推進事業	シティプロモーションに関するブランドメッセージ等を決定するとともに、PRイベントの開催や各種媒体を活用したPR事業を実施	ソフト	修正地域参画総量(mGAP)	-2591.3	左記数字の上昇を目指す	-2424.2	A	
7	越谷市	水辺の創業まちづくり事業	ソサイエティ5.0の社会に向けて、新しい価値観(DX)に対応する地域の人材を集め、創業のテカラで地域の課題を解決する事業の実施	ソフト	参加者の満足度	—	80.0%	98.53%	A	
8	三郷市	南部地域拠点防災コミュニティ施設体験学習展示制作事業	「(仮称)南部地域拠点防災コミュニティ施設」に防災体験学習に係る展示設備を製作・展示(2か年事業の1年目)	ハード	施設見学者数	—	21,000人			R10年度検証予定
9	吉川市	インクルーシブ公園整備推進事業	共生社会への意識を高めるため、すべての方が自由に交流し、共に遊び憩うことのできる公園を整備	ハード	来園者の満足度	—	70%			R8年度検証予定
10	草加市	未来への森モデル事業	市街地に残された貴重な自然を次世代へ継承するため、木道やベンチを整備し、人々がみどりを身近に感じられる「未来への森」モデル事業地を創出	ハード	当該土地を利用することで、みどりの大切さを感じることができたか	—	満足度90%			R8年度検証予定
11	草加市	顔の見える経済循環活性化事業	実践型スクールプログラムによる異業種企業のマッチングを支援・事業創出促進、創業支援、「さようならバージョンまちづくり」のネットワークの再構築による地域活性化	ソフト	地域における新規雇用者数	—	40人	49人	A	
12	草加市	市民参画型障がい者社会参加促進等創発事業	事業者・民間が提案したイベントの実施(4回)、リンクワーカー育成講座実施(5回)、随時活動実践のための相談支援(R5-R7の3か年事業の2年目)	ソフト	市民参画型障がい者社会参加促進等創発事業で実施する各プロジェクトの参加者数	—	1,500人			R8年度検証予定
13	鴻巣市	鴻巣市SDGs推進事業	イベントの開催や宣言制度の構築により、SDGsの普及啓発を推進し、次のステップとしてSDGsポイント制度の構築により、行動変容を促す。	ソフト	SDGsに関心のある市民の割合	45.2	50.2	51.6	A	
14	北本市	若者チャレンジ支援による地域愛着醸成事業	在任・在学の高校生や大学生を対象に、フィールドワークを通して、地域課題の抽出・解決に取り組む。	ソフト	参加者の修正地域参画総量指標(mGAP)の向上	-162.5	-152.5	1787.5	A	
15	伊奈町	「ばらサミット」開催の気運醸成と全国に向けた町の魅力発信事業	「ばらサミット」を開催し、全国に向けて「バラのまち伊奈」の魅力を発信するとともに、シビックプライドを醸成する。(2か年事業の2年目)	ソフト	バラ祭の有料期間中の観入場者数	52,963人	55,000人	59,540人	A	
16	鶴ヶ島市	ゼロカーボンシティ推進拠点施設整備事業	環境保全活動や自然学習の拠点としての機能を持った活動拠点施設の整備する	ハード	太田ヶ谷の森で行われるイベントへの参加者数	177人	700人			令和8年度検証予定
17	鶴ヶ島市	つるがしまこどもみらいSDGs事業	各種講演会・講習会の開催をし、環境意識と郷土愛の醸成を図り、市内外へ発信することで定住・転入促進につなげ、持続可能なまちづくりを進める。	ソフト	つるがしまこどもみらいSDGs事業のページアクセス数	—	1,200件	1,237件	A	
18	毛呂山町	毛呂山町合併70周年事業	合併70周年を記念する各種事業の実施により、毛呂山町の歴史や魅力を町内外に周知するとともに、住民のシビックプライド醸成を図る。	ソフト	町公式LINEの友だち登録者数	7,199人	8,000人	10,558人	A	
19	東松山市	東松山市市制施行70周年事業	市制施行70周年を迎えることから各分野における記念事業の実施。故郷東松山への誇りと愛着の醸成を図る。	ソフト	市公式LINEに友だち登録した人数	15,228人	18,300人	16,495人	C	構成事業の縮小や荒天による中止により、参加者数が見込みよりも少なくなったため。
20	嵐山町	嵐山渓谷を丸ごと楽しむ！観光整備事業	嵐山町鑑形に年間を通して使用できる「観光多目的広場」を整備する。同広場において地元野菜等の販売を行う「嵐山渓谷軽トラ市」を新たに開催する。	ハード	嵐山渓谷軽トラ市を含む多目的広場を活用したイベントの参加人数	35,447人	39,000人			R8年度検証予定
21	小川町	地域活性化交流拠点機能強化事業	道の駅おがわまち南側の町有地に遊具や災害対応型街灯を備えた芝生公園を整備。電動軽車両等の貸出拠点施設から町道へ導く通路、駐車場を整備。	ハード	道の駅おがわまち年間利用者数	70,000人	418,000人			R8年度検証予定
22	小川町	地域活性化交流拠点連携事業	道の駅おがわまちの再整備とともに道の駅と一級河川槻川を結ぶ遊歩道整備。槻川河川敷でのバーベキュー利用や川遊びに対応するための施設を整備。	ハード	道の駅おがわまち年間利用者数	70,000人	418,000人			R8年度検証予定
23	川島町	川島町地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊を採用し、地域商社と協働、体験型観光プログラム、町内観光資源と地域資源で、地域の稼ぐ力を向上。(3か年事業の1年目)	ソフト	交流人口	47,765人	65,000人			R9年度検証予定
24	滑川町	滑川町町制施行40周年事業	「笑顔につつまれ40年！好きですこの町 滑川町」を合言葉に各分野における記念事業を実施する。故郷への誇りと愛着の醸成	ソフト	町公式LINEに友だち登録した人数	1,426人	1,800人	1,878人	A	
25	狭山市	狭山市市制施行70周年を契機とした未来へ紡ぐまちづくり事業	市制施行70周年を契機に、市の魅力を市内外へPRするとともに、市内各所で賑わい創出につながるイベントや大学等と連携した事業を実施	ソフト	①地域推奨品(他者に勧めたい) ②地域参加量(友人・知人と参加したい) ③地域感測量	①13% ②10% ③40%	各項目50%以上(増加率)	①28% ②34% ③71%	A	

令和6年度ふるさと創造資金活用事業成果検証について

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	現状値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由/その他備考
26	狭山市	戦略的移住・定住シティブロモーション事業	プロモーション冊子の作成や、市民ライターへの育成による魅力発信。市民向けワークショップメンバーと職員ワーキンググループメンバーが連携してプロモーション活動を推進	ソフト	①mGAP(地域推奨量、地域参加量、地域感測量)指標 事業終了時の測定値・事業開始時の測定値 ②情報発信プラットフォーム「さやまちよこっとなび」のフォロー数	①- ②-	①数値の上昇 ②300人	①-1,253-326 ②829人	A	
27	日高市	健康づくり地域拠点整備事業(日高総合公園)	令和5年度に取得した日高総合公園内の平地林を活用し、地形を生かした散策路の整備や、休憩用ベンチ等の設置を行う。【2か年事業の2年目】	ハード	スポーツ広場及び平地林散策路の利用者数	—	1,000人			R8年度検証予定
28	行田市	日本遺産「忍城」を核とした国内外への魅力発信事業	“武士”と“忍者”に変身できるコンテンツ造成や「チャンバラ合戦」、「忍城おもてなし甲冑隊と忍者のコラボショー」、「人力車」を開催し、国内外に魅力発信	ソフト	忍城エリア入込客数	473,509人	488,000人	420,045人	C	コロナ禍が収束し、他観光地に観光客が流れたため。また、事業に関する周知が不十分だったため。
29	加須市	合併15周年記念事業「さ・あ・き・み・に」五感で伝える15周年」	合併15周年を契機に、若手プロジェクト発案事業を中心に新規事業を展開し、PRをすることでともに、更なる市民の一体感の醸成やまちづくり	ソフト	各種事業への参加者(利用者)	89,118人	100,000人	30,171人	C	当初予定していたイベントやアクション等を変更したため。また、事業に関する周知が不十分だったため。
30	久喜市	「健康・スポーツ都市」実現のための拠点整備事業	総合運動公園に整備するスケートボード場、3X3バスケットボール場、グラウンドの人工芝化及びテニスコートの増設等にかかる設計。【2か年事業の2年目】	ハード	総合運動公園の年間利用者数	251,629人	480,000人			令和10年度検証予定
31	幸手市	幸手市地域おこし協力隊設置事業	地域おこし協力隊を任用し、地域農業の担い手の確保、新たな農地利用による遊休農地の解消並びに地域活性化の促進を図る	ソフト	幸手産農産物のPRイベントへの参加回数	1回	4回			令和9年度検証予定
32	白岡市	地域の居場所づくり推進事業	白岡市役所連絡所を活用して、地域経済の循環と地域に住む多世代が気軽に集える居場所を両立させる持続可能な新しい形式の施設の在り方の検討	ソフト	地域コミュニティスポットの1月当たり利用人数	—	4,500人	5,000人	A	
33	宮代町	地域のオリジナルパークをつくらう！事業	ライフスタイルに合わせた特色ある場となるよう再整備し、地域が求める活用方法に応じた事業を実施【2年計画事業の2年目】	ハード	地域住民の満足度	18%	50%			令和8年度検証予定
34	杉戸町	移住・定住プロモーション事業	『このまちには』がある』をテーマに、「何もない」と言われがちな杉戸町の「あるもの探し」によって発見した魅力を発信する。	ソフト	杉戸町子育て世帯移住・定住促進奨励金の申請者のうち住宅を購入する前に制度を知っていた人の割合	—	60%	38%	B	制度に係る冊子の発行及び配布が遅れたことで、制度についての周知期間が見込みよりも短くなったため。
35	杉戸町	水辺空間活用事業	古利根川護岸に設置するデッキに給水設備(立水栓)を整備し、利用者の利便性を向上することにより、地域の賑わいの創出と共に、憩いの空間づくりを目指す。	ハード	川を活用した事業者出店数及びイベント参加者数	出店日数0日 入込観光客数13,502名	出店日数 50日 入込観光客数 23,500人			R8年度検証予定
36	寄居町	寄居町合併70周年事業	令和6-7年度に合併70周年を記念するイベントや記念誌の発行など。【2年計画事業の1年目】	ソフト	各事業の参加者数	97,521人	107,272人	99,399人	C	補助対象である第70回記念寄居町駅伝競走大会の参加者数は539人から876人に増加したものの、その他の事業は毎年おりの過半事業として実施したことで、補助対象事業の波及効果を得ることができなかったため。
37	寄居町	寄居町地域おこし協力隊事業	町内空き店舗活用・創業支援や町の魅力向上のため、町内に移住・創業した方にフォローアップイベントや移住セミナー等を開催。【3年事業計画の2年目】	ソフト	移住・創業に関する相談者数	23人	30人			令和8年度検証予定
38	熊谷市	熊谷駅観光案内所整備事業	広域的な東北観光の周遊拠点となる「熊谷駅観光案内所(仮称)」を整備し、交流人口、関係人口の拡大と、来訪者の受入体制の充実を図る	ハード	案内所利用人数	14,750人	30,000人			令和8年度検証予定
39	寄居町	図書館・中央公民館講座活動に係るDX推進事業	より多くの町民が行政サービスを享受できるようにするとともに、施設の利用及び講座の受講者を増やし、地域活動の活性化を実現する	ソフト	中央公民館講座参加者数及び図書館施設利用者	①中央公民館講座参加者 1,000人/年度 ②図書館施設利用者 65,988人	①中央公民館講座参加者 1,200人/年度 ②図書館施設利用者 68,000人/年度	①中央公民館講座参加者 1,110人/年度 ②図書館施設利用者 65,683人/年度	C	両施設とも設備導入が下半期に集中したことに伴い、新たな利用者への呼びかけを十分に行えなかったため。
40	本庄市	本庄産農産物PR推進事業	子供にもわかるPR冊子やのぼり旗、エコバック等を作成し、市のイベント等で配布し認知度を高めることで、ブランド化や消費拡大を図る。	ソフト	本庄市が県内有数の農産物産地であることの認知度	約60%	約70%	79%	A	
41	本庄市	関係人口創出のためのシティブランディング事業	ブランドメッセージを作成し、お披露目大規模イベントを開催、シティブロモーション計画の作成	ソフト	①大規模イベント参加者数 ②mGAP(地域推奨量、地域参加量、地域感測量)指標	—	①8,000人 ②422.7	①9,936人 ②540.5	A	
42	本庄市	若泉運動公園歩きたくなる公園整備事業	高齢者を主なターゲットとする地域住民にウォーキングの重要性を周知し生活に定着させるため、公園というスポーツとレクリエーションの拠点を整備する	ハード	①利用者のうち運動靴の履きかたが向上した割合 ②イベント参加者数	—	①5割 ②100人	①95% ②95人	A	
43	上里町	人気コンテンツを活用した産学官連携による町内観光周遊プロジェクト事業	上里町の観光振興のスタートダッシュ企画として町内周遊スタンプリーを実施する。実施に当たっては、人気コンテンツを活用した景品を産学官連携で開発	ソフト	観光入込客数	936,324人	950,000人	1,001,034人	A	
44	横瀬町	ウォーターパーク・シラヤマ及びその周辺の横瀬川整備事業	右岸・左岸公園を結ぶ人道橋の設置、左岸公園河川沿いの日よけを兼ねた休憩施設の設置、右岸公園の多目的広場への改修【3か年事業の1年目】	ハード	ウォーターパーク・シラヤマ及びその周辺の横瀬川の利用人数	年間8,600人	14,000人			R9年度検証予定
45	長瀬町	名勝及び天然記念物「長瀬」指定100周年記念事業長瀬魅力再発見事業	名勝及び天然記念物「長瀬」指定100周年記念事業の一環として、水にまつわるアトラクションや体験展示・学びのブース等を設けるイベントを開催	ソフト	イベントへの参加人数	—	2,000人	500人	C	新聞やTV等のメディアによる周知をしておらず、地域外からの参加者を集められなかったため。
46	小鹿野町	DIY(出会い)を通じた交流拠点創出事業	町内の有志を募ったワークショップを通じ、観光案内所の整備内容の検討及び観光案内所のDIYを実施	ソフト	DIY参加人数と観光案内所利用人数	DIY参加人数:0人 観光案内所利用人数:10人/日	DIY参加人数:のべ100人 観光案内所利用人数:20人/日	DIY参加人数:のべ73人 観光案内所利用人数:15人/日	C	(DIY参加人数について)平日開催が多く、また周知が不十分だったため。(観光案内所利用人数について)延長の長期化によりDIYの計画を変更し、小規模なリニューアルになったため。また、周知が不十分だったため。
47	小鹿野町	小鹿野町出会い創出プロジェクト	地元の男性と町外の女性をターゲットに、竹灯りの飾りつけや秩父銘仙の体験、参加者へのメイク、身だしなみのサポート等、出会いのきっかけとなるイベントを開催	ソフト	イベント参加者のマッチング成立率	—	30%	33%	A	